

K交【金沢学生のまち市民交流館の活性化】

学生による『私のまち』
MOVIEコンペティション
～金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業採択案件～



実行委員会代表
谷井 猛流

アウトライン

I メインテーマ	VI プロモーション
II 背景	VII 本企画の利点と流れ
III 問題点	VIII 連携体制
IV 企画提案	IX 組織構成
V 企画内容	X 一年間の方針

メインテーマ
金沢市に新しい風を

活性化絶好のチャンス
【北陸新幹線開通】

日本政策投資銀行が試算した
新幹線開業の県内経済波及効果

直接効果 57億円 (比増4.1億円)

1次間接波及効果(6産業の生産額合計) 18億円

2次間接波及効果(消費税率での消費額) 13億円

88億円

我々の対象は、北陸3県+長野県+新潟県とする。

問題点はなにか

1

学生が連想する“金沢”って？

2

石川 富山 新潟 福井 長野 東京

“点”から“面”へ

石川 富山 新潟 福井 長野 東京

コンパクトに

デジタル的に

的確にアピール

そのためには...
アピールする新しい
“何か”が必要

金沢市民がMOVIE制作
作品をYoutubeに公開

【改善案】
北陸の市民がそれぞれの
MOVIEを制作して、情報交換
作品をYoutubeに公開
+
もっと広く、MOVIE公開

“私のまち”の再現2014
MOVIEコンペティション

コンセプト
北陸の学生が主体となり
北陸を映像の世界へ

主役
Movie制作に意欲のある北陸の学生

“私のまち”再現のキーワード
「モノづくり」 「近代産業遺産」 「リノベーション」 「民芸・工芸」 「アニメ文化」 「歴史・文化遺産」

手順

いよいよ金沢動画コンテスト
(広報広聴課所管)と協働

審査員
情報系の大学教授等
北陸地域の有識者

一次選考 二次選考

審査方法等
動画コンテストに準拠

インターネットによる選考
学生のみ市民交流館で実施

受賞作品
賞品(スポンサー)

本企画の宣伝方法

- ①ネットで公募(市の動画コンテストと同時に)
- ②各県の大学(メディア、情報系の学科)、専門学校に参加を依頼
- ③各自治体に依頼 ex) 観光交流課
- ④各駅に告知依頼
- ⑤SNS経由でネットワークを構築

メディア系大学・短大・専門学校

情報系大学・短大・専門学校

電子計算研究会

3DCG班
3DCGでは3DCGソフトを使った立体物のモデリング、禁止画や動画の制作などの活動をしています。
毎月まで20名以内で決めておいてほしい。チームやメンバーを見ては選べる。一語CGを作ってみませんか？

3DCG 使用ソフト
Adobe Creative Suite 6 Master Collection
SAI
3DCG 使用ソフト
MAX、SolidWorks、Blender、LightWave
使用教材
intars4-damboo

数多くのコンテストに参加している

参考文献「金沢工業大学 電子計算研究会2014」6月27日、
http://kit-ic-main.jp/wiki/camella/about_kitcgfpsearch/

入賞作品の活用方法

コンペティションをして何が得られるの？

ネット公開

セクター1

セクター2

DVD

入賞作品の活用方法

セクター1

セクター2

DVD

セクター3
金沢駅を初め、新幹線停車駅における
各地域の公的機関等に公開

セクター4
各県・市のアンテナショップ等に公開

セクター5
国内外の展示会のJAPANブースで公開

JETRO INTO CLAIR
各県の海外駐在事務所の活用

活性化のプロセス

金沢の取り組みを
アピール

学生交流

企画の実施 学生が集まる コンペティション 文化に学生が参加 北陸新幹線 地域一体性 人的流動性 文化の保存と発信

北陸隣県の認知度↑

伝統の引継ぎ

金沢市活性化

本企画のメリット

北陸の学生が考える“私のまち”を共有し
新しい価値を生み出すことができる。
また、新しいアピール手段に繋がる。

学生による
まちづくり

金沢を中心に
北陸のアピール

北陸新幹線沿線地域内の
人的流動性向上

連携体制

市民協働推進課 「(1)北陸新幹線動画コンテスト」

企業 「(2)情報系、メディア系学科」

マスコミ 「(3)情報系、メディア系学科」

各大学の海外事務所

自治体 アンテナショップ 「(4)各自治体観光交流課」

学生による『私のまち』
MOVIEコンペ実行委員会

「(5)各自治体観光交流課」

「(6)各自治体観光交流課」

「(7)各自治体観光交流課」

「(8)各自治体観光交流課」

「(9)各自治体観光交流課」

「(10)各自治体観光交流課」

「(11)各自治体観光交流課」

「(12)各自治体観光交流課」

「(13)各自治体観光交流課」

「(14)各自治体観光交流課」

「(15)各自治体観光交流課」

「(16)各自治体観光交流課」

「(17)各自治体観光交流課」

「(18)各自治体観光交流課」

「(19)各自治体観光交流課」

「(20)各自治体観光交流課」

組織構成

大砂先生 担当顧問

熊井先生 アドバイザー

LINE DropBox

谷井 猛流

管理部長

業務部長

技術部長

議事録作成

データ管理

動画管理

問い合わせ対応

審査員交渉

企業交渉

プロモーション

情報収集

動画編集

動画確認

参加者の連絡

目録更新

一年間の方針

- 1.プロモーション活動の拡大とHPへの誘導
- 2.予算の活用方法
- 3.募集要項の具体化
- 4.審査員について
- 5.連絡対応
- 6.アウトプット

FIN

31

32

33